

【2025 事業報告書 ①】

HKFA審判委員会 女子部

都道府県審判トレセン女子審判員研修会①

- 日 時 : 2025年4月20日 (日)
■場 所 : 北海道文教大学附属高等学校グラウンド
■インストラクター : 森 宏介 (サッカー2級審判インストラクター・女子部)
■参加者 : 高橋 柚葉・土屋 花 (2級審判員)
オホーツク地区ユース審判員 (3級審判員)
■内 容 : 高校女子トレーニングマッチ 実技研修



■参加者のコメント

5R ～一步一步着実に～

高橋 柚葉(2級審判員)

今回、トレーニングマッチの研修会へ参加させていただきました。試合時間は短かったですが、今シーズン初の主審と副審のトレーニングができたと同時に講師より丁寧な振り返りを行っていただき強みや課題点を見つけることができました。文教の監督さんや選手の皆さまが寒い中審判員の場所の確保や声かけを行ってくださり温かみを感じました。今回の研修にあたりご協力して下さった監督さま、選手の皆さま、講師の森さまありがとうございました。今シーズンの目標は初の女子道リーグで主審を務めることです。今年もたくさんチャレンジし楽しんでいきます！

土屋 花(2級審判員)

北海道でのシーズン明けが近づく中で今回貴重な場に参加できたことをとても嬉しく思います。個人だけではできない実戦形式での研修であった為、公式戦に向けてのよいトレーニングを行うことができました。今回は私のほかに2名の審判員の方々も参加され、自分だけではなく他の審判員の動きを見ることができたのでとても勉強になる事が多く、充実した時間を過ごすことができました。今回このような機会を設けてくださった北海道文教大学附属高校の皆さま、とてもよい練習試合を作っていただいた選手の皆さまに感謝申し上げます。開幕まで残り数日となりましたが、北海道のサッカーがよりよいものになるよう、万全の準備を行いたいと思います。

オホーツク地区ユース審判員(3級審判員)

シーズン開始前の調整も兼ねた研修会ということで、試合数も少ない中、主審もやらせていただくことができました。沢山のご指導を受けて、今シーズンの自分の課題を発見することができて貴重な機会でした。より良いレフェリングができるよう、努力を続けたいと思います。研修会に参加させていただき、ありがとうございました。

■森宏介2級審判インストラクターより

4月20日恵庭市の文教大付属高等学校で開幕前実技研修を行いました。高校生のTRMの審判実践を通じた研修に3名の審判員が参加しました。それぞれの今シーズンの目標を発表しシーズンを通じて審判員同士が情報を共有できるような雰囲気作りから始めました。

3名とも事象をしっかり見ようと運動量を活かしたレフェリングをすることができました。スプリントやステップワークの良さ、全体的な運動量、それぞれの審判員のストロングポイントを見ることができました。シーズン序盤ということで3人ともポジショニングに迷いがありました。ポジショニングの改善のために、争点に対する距離と角度、ボールの受け手と出し手を把握すること、プレーや反則を予測することなどについて振り返りを行いました。

この研修を通じ、考えるきっかけとなり今シーズンのレフェリングに活かされることを願っています。最後になりますが、文教大附属高校、北照高校などにゲームの機会を提供いただき大変感謝申し上げます。また、今後も審判研修をお願いするかと思いますが、よろしくお願いいたします。



北海道女子サッカーリーグ 開幕！

5月4日の第1節3試合を皮切りに、今年も北海道女子サッカーリーグが開幕しました。

多くの女子審判員が今年も担当します。

選手と共に、北海道の女子サッカーを盛り上げていきたいと思っています！

